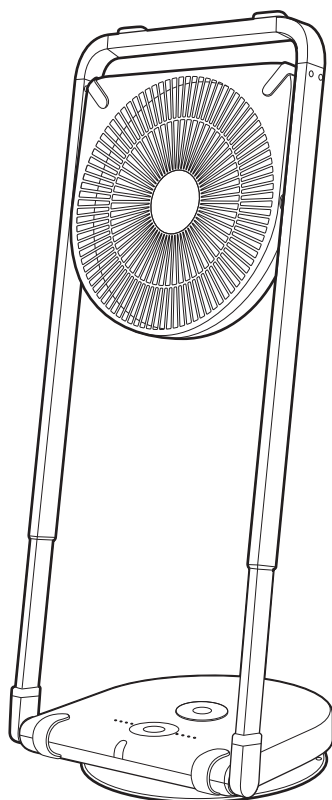


DC フォールディングファン FLR-251D

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P1 ~ P2
各部の名称とはたらき	P3 ~ P4
正しい使いかた	P5 ~ P10
お手入れと保存	P11 ~ P12
修理・サービスを依頼する前に	P13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	... P14
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

電 源	DC24V 専用 AC アダプター (付属)
消費電力	約 10W
ACアダプターコード長さ	約 2.5 m
外形寸法	約 幅 34 × 奥行き 30 × 高さ 69 ~ 81 cm
質 量	約 5.4 kg (本体のみ・リモコン・ACアダプター含まず)

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

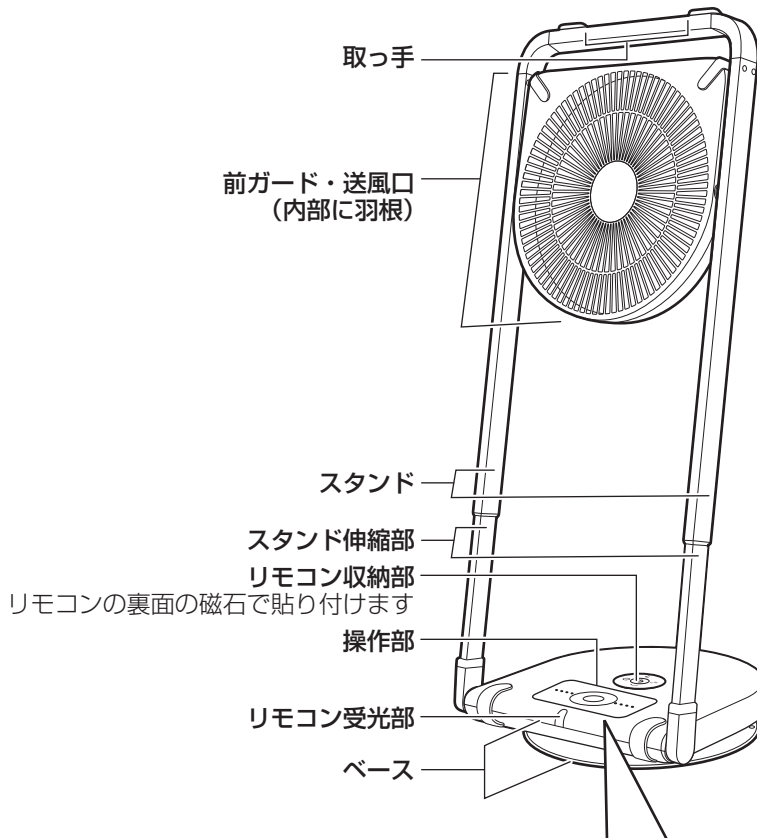
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 指示	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	付属のACアダプター以外は使用しない。 火災・感電・けがの原因になります。		本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		リモコンには磁石が使用されているので、扱いには十分注意する。 ペースメーカーなど使用されている人が胸ポケットに入れたり、磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。
	製品の高さの変更や、お手入れのときは、電源プラグを差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードやDCコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	羽根とガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふくとする。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードやDCコード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れ後、羽根とガードをしっかりと固定する。 締め付けが不十分だったり、正しく取り付けられていないと、けが・故障の原因になります。		ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
				 ぬれ手禁止	
				 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

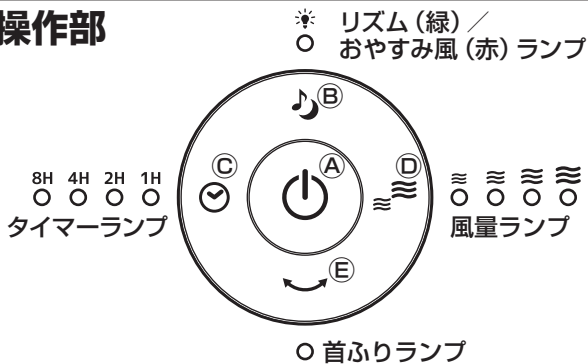
⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。	 禁止	ガードの中や本体内部に指などを入れない。 けがの原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になることがあります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。 リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。 次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。		
 禁止	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		
	ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になることがあります。		首ふり動作中の扇風機を無理に正面に向けない。 破損・故障・異音などの原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき



操作部

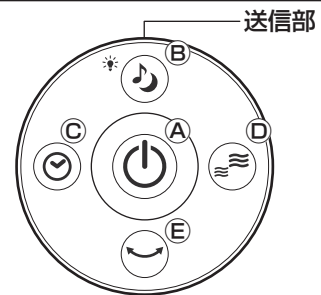


動作ランプ

操作ボタンのまわりにあるランプで、現在の状況を確認できます。

- ・風量ランプ
運転中の風量を表示します。運転中は4つの風量ランプのどれかが点灯します。
- ・リズム風／おやすみ風ランプ
リズム風のときは緑色、おやすみ風のときは赤色に点灯します。
- ・タイマーランプ
(赤色点灯時: 入タイマー 緑色点灯時: 切タイマー)
入タイマー・切タイマーが設定されているときに点灯します。
- ・首ふりランプ
首ふり運転中に点灯します。

リモコン



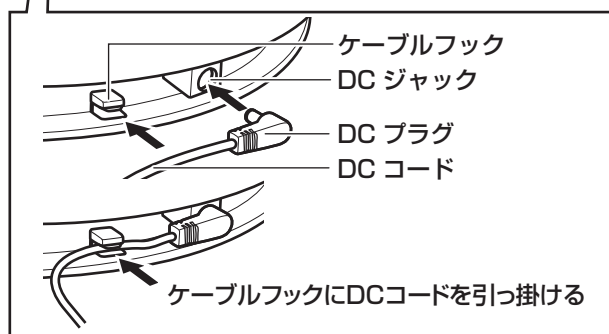
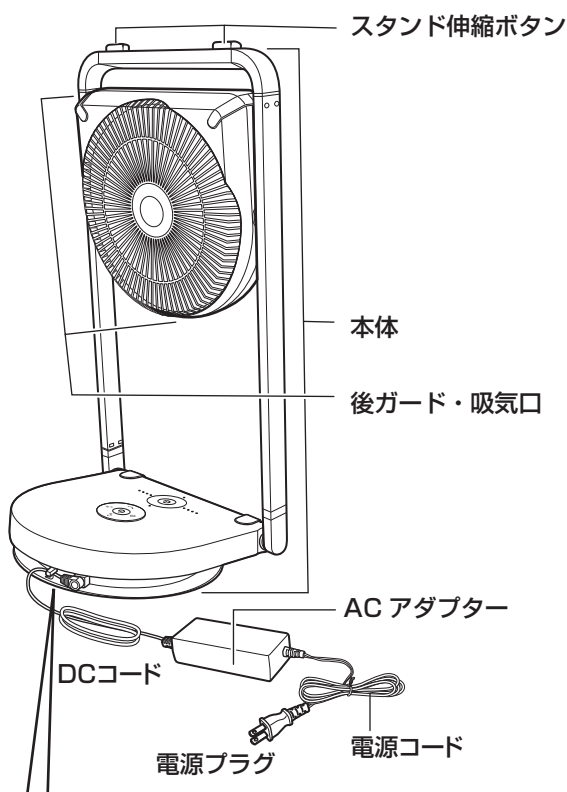
操作ボタン

本体・リモコンの操作ボタンの機能は同じです。

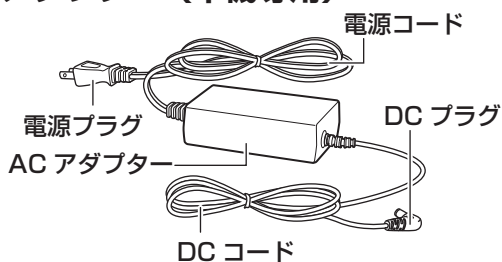
- ①電源ボタン (A)
運転を開始／停止します。
- ②リズム／おやすみ風ボタン (B)
リズム／おやすみ風機能の切り替えをします。
※長押し(3秒以上)でランプが※減光モードに設定されます。
- ③タイマーボタン (C)
入タイマー、切タイマーの時間を設定します。
- ④風量ボタン (D)
運転中の風量を調節します。
- ⑤首ふりボタン (E)
首ふり運転を開始／停止します。

送信部 (リモコンのみ)

本体のリモコン受光部に向けて使用します。

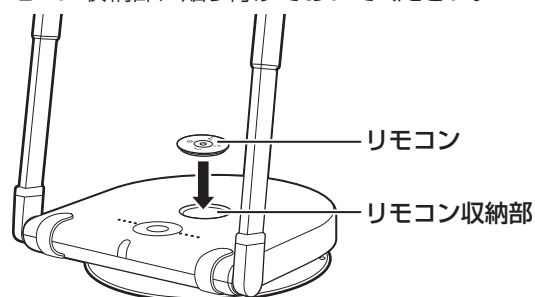


AC アダプター (本機専用)



リモコンを使用しないとき

通常、リモコンを使用しないときは、リモコンをリモコン収納部に貼り付けておいてください。



※ リモコン収納部に貼り付けたまま操作することはできません。



警告

リモコンには磁石が使用されているので、扱いには十分注意する。
ペースメーカーなど使用されている人が胸ポケットに入れたり、磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。

正しい使いかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	コイン形リチウム電池 (CR2025).....	1 個
リモコン.....	1 個	取扱説明書 (保証書含).....	1 個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要なので捨てないでください。



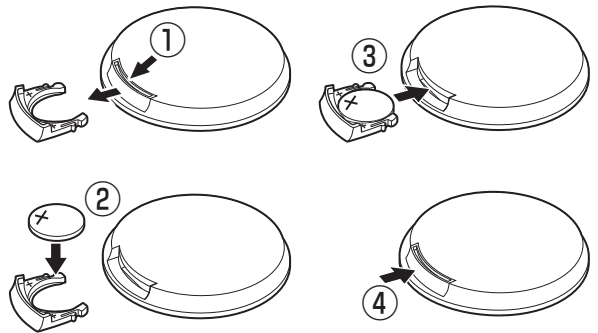
警告

- ・前ガード・羽根取付用スピナーを取り付けずに運転をしない。
- ・本体を正しく設置した状態（安定したところにスタンドを起こした状態）以外で運転をしない。

使用前の準備

1. リモコンに電池を入れる

- ①電池ボックスをリモコン本体から引き出す
電池ボックスのすきまから引き出します。
- ②コイン形リチウム電池を、電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスに入れる
電池の⊕側を上にして入れてください。
- ③電池ボックスをリモコン本体に差し込む
カチッと音がするまで差し込んでください。



注意

- ・電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- ・電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

使用可能範囲

- ・本体正面から直線で約 5 m
- ・本体正面から左右に約 30 度
- ・リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

2. 本体を水平な安定した広い場所に置く

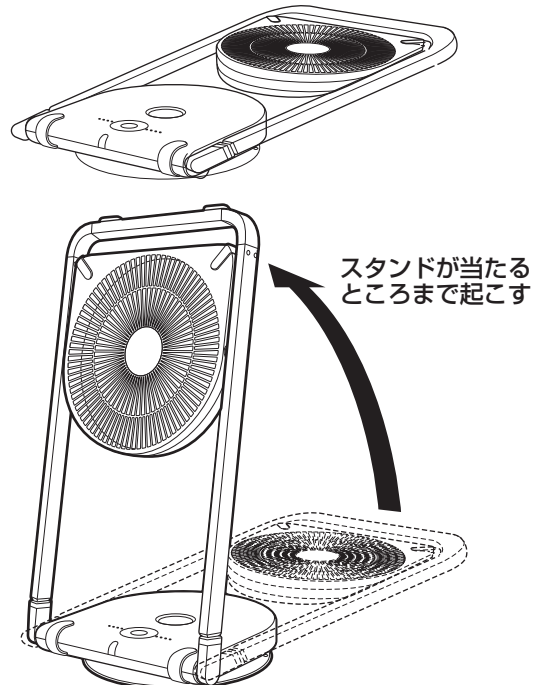
3. ベースを押さえて、スタンドを起こす

ベースが動かないように押さえて、スタンドが当たるところまで起こしてください。



注意

- ・ベースとスタンドに手などはさまないように十分に注意する。
- ・スタンドを起こすときに、必ずスタンドが当たるところまで起こし、途中で止めたりしない。
事故やけがの原因となります。



※スタンドを起こすとき、途中で止めないでください。



- スタンドを起こしきっていない状態で、起こすのを止めない。
事故やけがの原因となります。また、起こしきっていない状態のままにしておく、転倒する原因になります。
- スタンドを起こす前に運転を開始しない。

4. 使用位置を高くするときは、スタンド伸縮ボタンを2つ同時に押したあと取っ手を引き上げ、カチッというところまでスタンドを伸ばす

- 使用位置を低くするときも、スタンド伸縮ボタンを2つ同時に押したあと取っ手を押し下げ、カチッというところまですべて縮めてください。



- スタンドの伸縮するところに手などはさまないように十分に注意する。
- スタンドを伸縮させるときには、必ずカチッというところまで伸縮させ、途中で止めない。
事故やけがの原因となります。
- 運転中にスタンドの伸縮をしない。
事故やけがの原因となります。

※スタンド伸縮ボタンを押したままスタンドを伸ばしたり縮めたりすると、カチッと音がしません。

5. 本体を安定した水平な場所に設置する

スタンドを起こしたときも、移動させるときは取っ手を持ちます。

6. AC アダプターの DC プラグを本体に差し込む

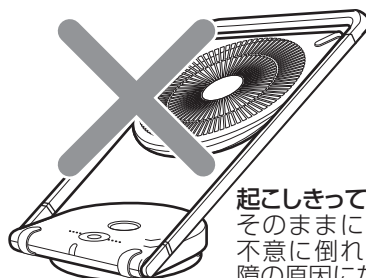
- ベースにある DC ジャックに、DC プラグを奥までしっかり差し込みます。
- DC プラグを差し込んだあと、ケーブルフックに DC コードを引っ掛けてください。



- 必ずケーブルフックに DC コードを取り付ける。
- DC コード・電源コードをベースの下にはさんだりしない。
DC コード・電源コードが傷つき、火災・感電の原因になります。

7. 電源プラグをコンセントに差し込む

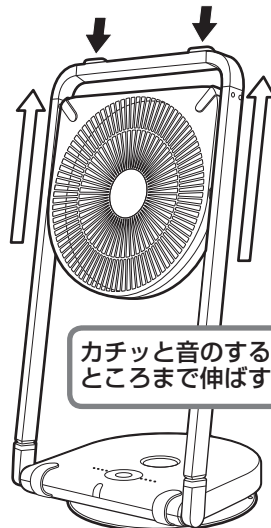
ピッピッと音がします。



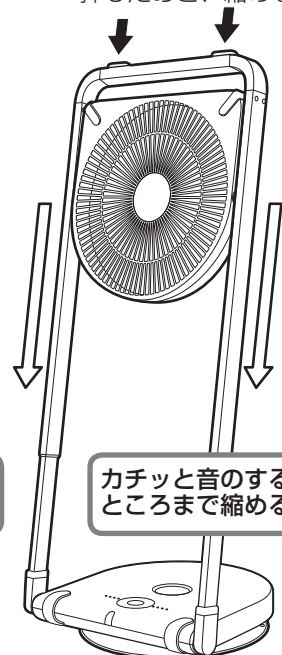
起こしきっていない状態そのままにしておく、と不意に倒れてけがや故障の原因になります。

低くするとき
スタンド伸縮ボタンを押したあと、縮める

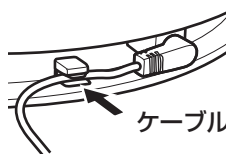
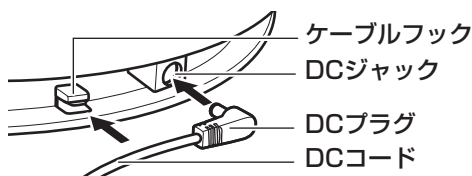
高くするとき
スタンド伸縮ボタンを押したあと、伸ばす



カチッと音のするところまで伸ばす



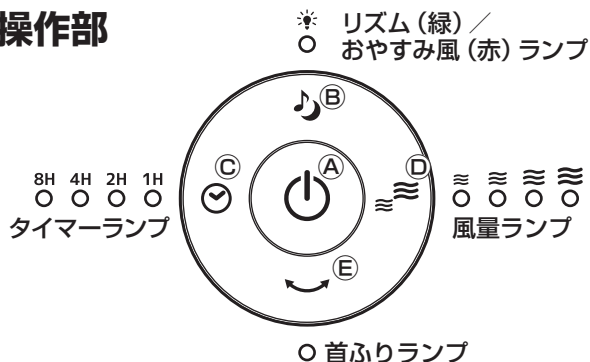
カチッと音のするところまで縮める



ケーブルフックにDCコードを引っ掛ける

正しい使いかた（つづき）

操作部



動作ランプ

操作ボタンのまわりにあるランプで、現在の状況を確認できます。

・風量ランプ

運転中の風量を表示します。運転中は4つの風量ランプのどれかが点灯します。

・リズム風／おやすみ風ランプ

リズム風のときは緑色、おやすみ風のときは赤色に点灯します。

・タイマーランプ

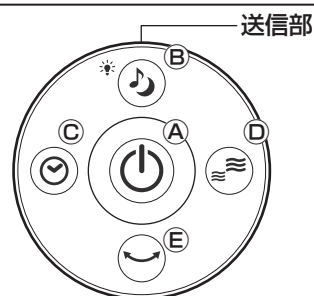
(赤色点灯時: 入タイマー 緑色点灯時: 切タイマー)

入タイマー・切タイマーが設定されているときに点灯します。

・首ふりランプ

首ふり運転中に点灯します。

リモコン



操作ボタン

本体・リモコンの操作ボタンの機能は同じです。

A ①電源ボタン

運転を開始／停止します。

B ②リズム／おやすみ風ボタン

リズム／おやすみ風機能の切り替えをします。

※長押し(3秒以上)でランプが※減光モードに設定されます。

C ③タイマーボタン

入タイマー、切タイマーの時間を設定します。

D ④風量ボタン

運転中の風量を調節します。

E ⑤首ふりボタン

首ふり運転を開始／停止します。

送信部（リモコンのみ）

本体のリモコン受光部に向けて使用します。

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、運転を開始します。

- ・通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふりで運転を開始します。
- ・電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンの①電源ボタンを押したときには、微弱風、首ふりなしで運転を開始します。

2. 風量を調節する

本体またはリモコンの④風量ボタンを押して風量を調節してください。



注意

- ・スタンドを起こさない状態で運転を開始しない。
- ・前ガード・送風口と後ガード・吸気口、どちらも周囲から十分に距離を保つ。吸気、首ふりの安全性からも、周囲の距離などを十分に確認してから運転を開始してください。

メモリー機能

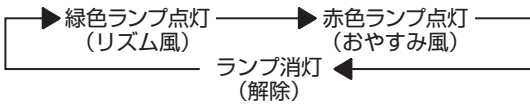
本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます（風量・首ふり）。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 風量: 微弱風。首ふり: なし

3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。



運転中に本体またはリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、表示部・運転ランプが※減光モードに設定されます。

4. 首ふり運転を開始／停止する

運転中に本体またはリモコンの⑤首ふりボタンを押すと、首ふり運転を開始します。もう一度押すと首ふり運転を停止します。

手動で向きを変えられます。

変えられる向きは、左右各3段、1段約10度で、合計約60度です。



- 首ふり動作中に無理に向きを変えない。
- 安全のため、運転を停止させた状態で向きを変える。
無理に向きを変えると破損・故障・異音などの原因になることがあります。

5. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの⑥電源ボタンを押すと、運転を停止します。

切り忘れ防止機能（オートオフ機能）

本体またはリモコンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を自動的に停止します。

6. 電源プラグをコンセントから抜く



使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。



- 電源プラグがコンセントに差し込まれていると、ACアダプター、マイコンなどに電流が流れ続けます。
長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けた場合は、すべての設定が解除され、運転が停止します。
始めから操作をやり直してください。

リズム／おやすみ風機能について

リズム風（緑色ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの③風量ボタンを切り替えることで風量パターンが変化します。

おやすみ風（赤色ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの③風量ボタンを切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

(≒ 強風時) 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 → 微弱リズム風 と時間とともに変化します。

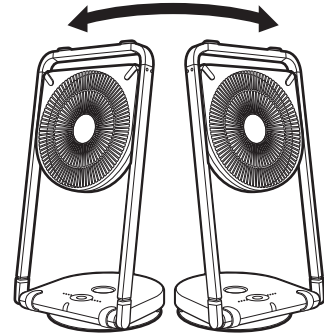
(≒ 中風時) 中リズム風 → 弱リズム風 → 微弱リズム風 と時間とともに変化します。

(≒ 弱風時) 弱リズム風 → 微弱リズム風 と時間とともに変化します。

(≒ 微弱風時) 微弱リズム風 と同じです。

※ おやすみ風運転中、風量に変化しても風量ランプは設定時の表示から変化しません。

首ふり約75度



減光モード

運転ランプがまぶしいときに、本体またはリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、減光モードに設定することができます。

減光モードを解除する

- ④リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)する
- 運転を停止する

正しい使いかた（つづき）

タイマーを設定する

切タイマーの設定

設定した時間になると自動的に運転を停止させる、切タイマーを設定することができます。

1. 運転中にⓈタイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中にⓈタイマーボタンを押すと、タイマーランプが緑色に点灯し、切タイマーが設定されます。切タイマーの動作時間はⓈタイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマーランプを確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- ・タイマーランプは切タイマーを設定したあと、切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルするには、Ⓢタイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させる

タイマーランプについて

タイマーランプは、Ⓢタイマーボタンを押すごとに下のように切り替わります。



切タイマー・入タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーが働くまでの時間を表示します。



タイマーランプは、入タイマーのときは赤色に、切タイマーのときは緑色に点灯します。

※入タイマーと切タイマー同時に設定することはできません。



使用後はⓈ電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

入タイマーの設定

設定した時間になると自動的に運転を開始させる、入タイマーを設定することができます。

1. 運転が停止している状態で、Ⓢタイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止した状態でⓈタイマーボタンを押すと、タイマーランプが赤色に点灯し、入タイマーが設定されます。

- ・直前に使用していた風量ランプが（首ふりしていたときは首ふりランプも）点滅します（→メモリー機能）。

入タイマーの動作時間はⓈタイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマーランプは入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。



入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。
子供がいたり、本体が倒れる風が入ってくるところであるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

Ⓐ風量ボタンを押して、設定した時間に運転する風量を設定します。設定した風量ランプが点滅します。

- 風量だけでなく、Ⓒ首ふりボタンやⒹリズム／おやすみ風ボタンを押して、設定した時間に運転する風を設定することができます。
- 設定は、ランプの点滅により確認できます。

切り忘れ防止機能（オートオフ機能）

入タイマーで運転を開始したときは、12時間連続運転すると、運転を自動的に停止します。

運転開始後、ボタンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を停止します。

3. 入タイマーをキャンセルするには、 Ⓒタイマーボタンを何回か押して、 タイマーランプを消灯させる

角度を調節する

取っ手を支え、前ガードの上部または下部を押して、ゆっくり上下に動かします。

- 角度を調節するときは、必ず運転を停止させて、羽根が止まったことを確認してから行ないます。
- 本体が倒れたりしないように片手で押さえながら調節してください。



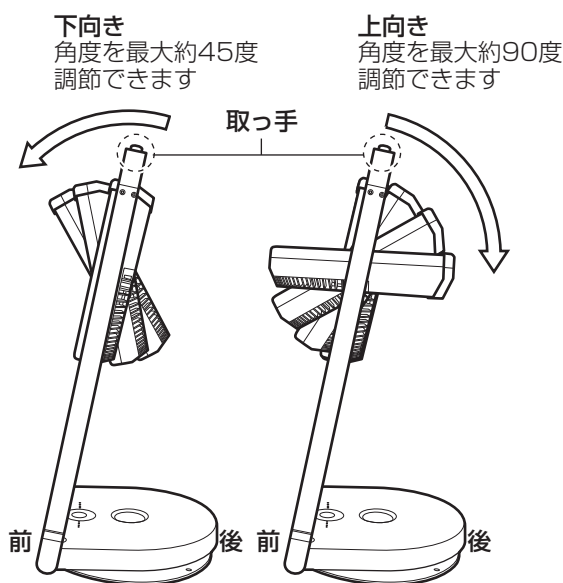
注意
運転中に角度調節をするときは、指をはさまないように注意する。
けがや故障の原因になります。

サーキュレーターとして使う

室内の空気を循環させてエアコンと併用すればエアコンの効きをよくします。

持ち運び

移動するときは、必ず取っ手を持って移動してください。



お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体・ACアダプターに水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

お手入れ

通常のお手入れ（汚れが気になるとき）

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

通常のお手入れ

前ガード・送風口、後ガード・吸気口のホコリを掃除機で吸い取ってください。



- ・お手入れのあとは必ず羽根・羽根取付用スピナー・前ガードを正しく本体に取り付ける。
- ・前ガードを取り付けずに運転しない。

内部のお手入れ

以下のようにして前ガード・羽根を取りはずして内部のお手入れをします。

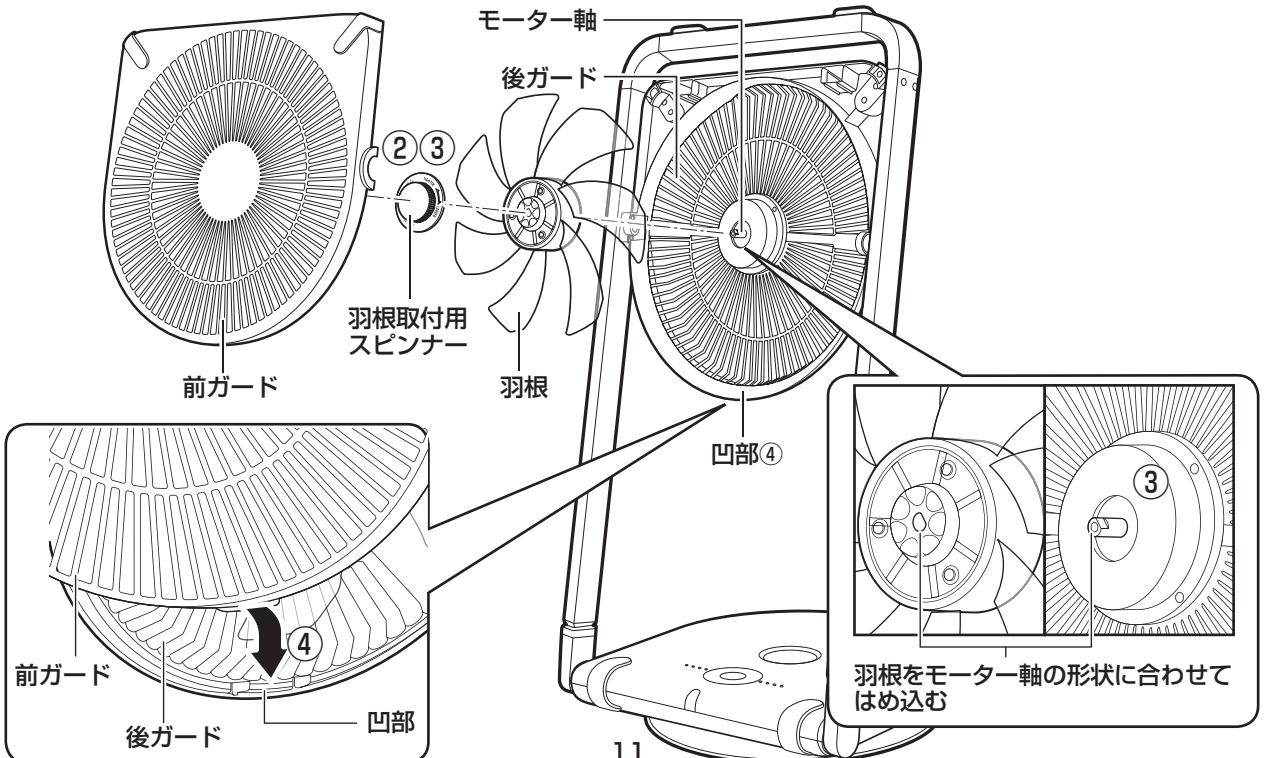
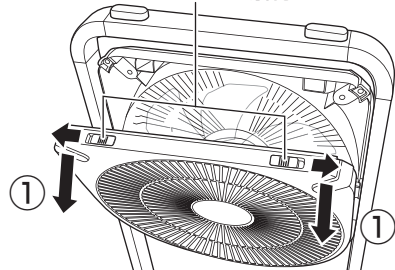
取りはずし

- ① 前ガード上部の2つのロック解除スイッチを、ふたつ同時に外側に動かし、そのまま手前に引いて前ガードを取りはずします。
- ② 羽根取付用スピナーを右回しにしてはらず、羽根も取りはずします。

取り付け

- ③ 羽根をモーター軸の形状に合わせてはめ込み、羽根取付用スピナーをしっかりと左回しにして締め付け、羽根を取り付けます。
- ④ 前ガードの下のツメを後ガードの下の凹部にいれてから上のロック解除スイッチ側をはめ込みます。

ロック解除スイッチ



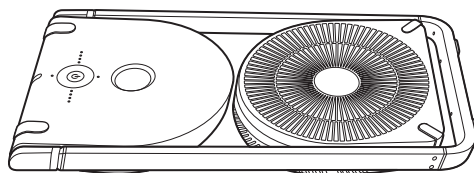
スタンドのおりたたみかた（最小化）

本機は、使用しないときにおりたたんで（最小化）コンパクトに収納することができます。

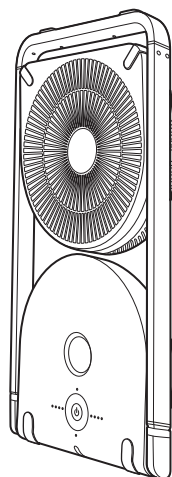
1. 運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、AC アダプターを本体からはずします。
2. スタンドを縮めます（6 ページ）
3. ベースを押さえ、取っ手を持ち、ゆっくりとベース側にスタンドを倒します。（5 ページの「3. ベースを押さえて、スタンドを起こす」の逆）

※ 最小化したものは、人のいるところに立てかけておいたりしないでください。

※ リモコンと AC アダプターは、適切な場所に保存してください。



最小化した状態



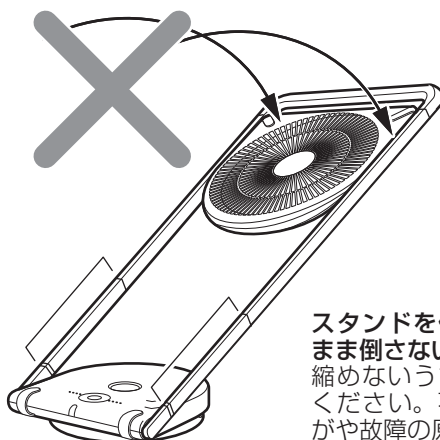
最小化させると、幅の狭い場所にも保存することができます。

⚠ 注意

- おりたたむ前に必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- スタンドをたおすとき、指をはさまないように注意する。
けがや故障の原因になります。
- 最小化したものを立てかけておかない。
幼児の手の届くところに保存しない。
不意に広がったり、倒れてくる場合があります。
- 持ち運びには取っ手以外持たない。

保存のしかた

- 前ガード・送風口、後ガード・吸気口のホコリを掃除機でお手入れしておきます。
- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 長期保存のときは、リモコンの電池ははずしておいてください。



スタンドを伸ばした状態のまま倒さない。
縮めないうちに倒さないでください。不意に倒れてけがや故障の原因になります。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	・DC プラグが DC ジャックから抜けている	DC プラグを DC ジャックに差し込む (4 ページ)
風が弱い	・後ガード・吸気口や前ガード・送風口にホコリがたまっている	ホコリを掃除機などで取り除く
	・後ガード・吸気口がふさがれている	・後ガード・吸気口をふさがない ・後ガード・吸気口をふさいでいるものを取り除く
突然運転が停止した	・切り忘れ防止機能がはたらいている (8・10 ページ)	本体またはリモコンの④電源ボタンを押して運転を開始させる
動作ランプが暗い	・減光モードが設定されている (8 ページ)	本体またはリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを長押し (3 秒以上) する、または運転を停止する
運転時に大きな音がる	・前ガードや羽根が正しく取り付けられていない	前ガードや羽根を正しく取り付ける (11 ページ)
	・スタンドの起こしかた・伸縮が中途半端	カチッと音がするまで起こす・伸縮させる (6 ページ)
ボタンを押してもランプが点滅して動作しないことがある	・入タイマー設定の状態になっている	タイマーボタンを何回か押して、入タイマーを終了させる
リモコンから操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・リモコンの電池が逆に入っている	電池を正しく入れる (5 ページ)
	・リモコン収納部に取り付けたまま操作している	・送信部をリモコン受光部に向ける
	・リモコン受光部に向けて操作していない ・リモコン受光部までの距離が遠い	・リモコン受光部に近づいて使用可能範囲で操作する

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや AC アダプター、電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります） [設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間 など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。